

いいのであるというのの会社説明会

2023年2月17日 九州旅客鉄道株式会社 (証券コード: 9142)

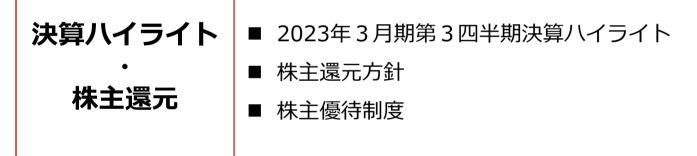
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき判断した予想であり、 実際の業績等は様々なリスクや不確実性等の要因により大きく異なることがあります。

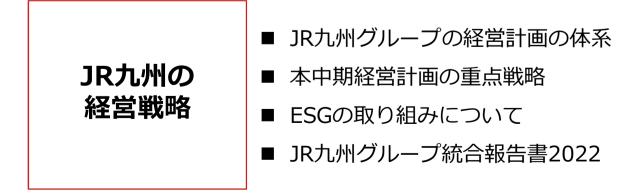


KYUSHU RAILWAY COMPANY

本日お伝えしたいこと

JR九州グループのあゆみ
 JR九州グループの主な事業内容
 JR九州グループのビジネスモデル
 JR九州グループの強み
 地域のみなさまとともに







JR九州について



企業プロフィール(2022年3月31日現在)

- **会社名称** 九州旅客鉄道株式会社
- ■設立 1987年4月1日
- ■本社 福岡市博多区博多駅前3丁目25番21号
- ■資本金 160億円

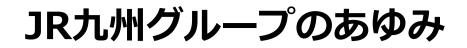
し し R 九州

- ■**従業員数** 単体 7,647名 (連結 14,872人名)
- ■**事業年度** 毎年4月1日~翌年3月31日
- 発行済株式総数 157,301,600株 (単元株式数:100株)
- ■上場市場名
 東京証券取引所(市場1部)2016年10月25日上場
 (新市場区分:プライム市場【2022年4月~】)
- ■**株主数** 163,404名
- 発行体格付(R&I) AA (安定的)

※格付信用度 AAA> AA >A>BBB>BB>B>CCC>CC>D

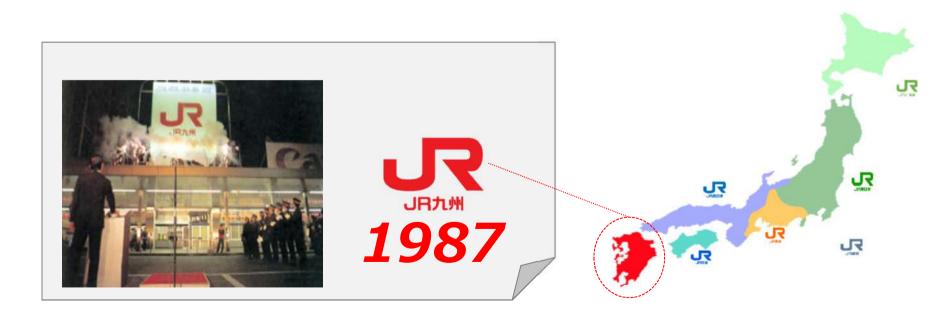
■子会社・関連会社 子会社 54社(うち 連結子会社44社)
 関連会社 7社(うち持分法適用関連会社4社)





「日本国有鉄道」の分割民営化によりJR九州が発足

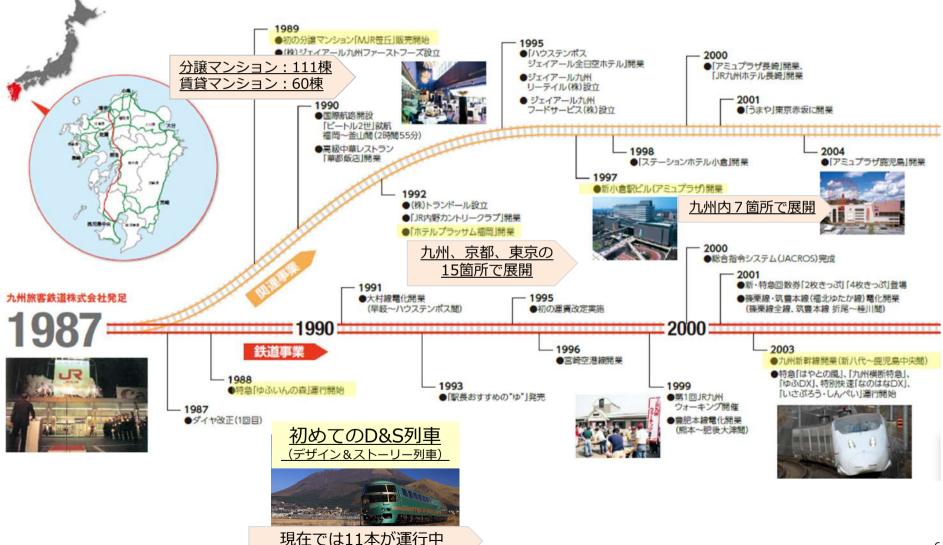
あらゆる事業に挑戦する精神 「鉄道事業だけに依存してはいけない」という思いで、 様々な事業に挑戦し成長を実現してきた



(-

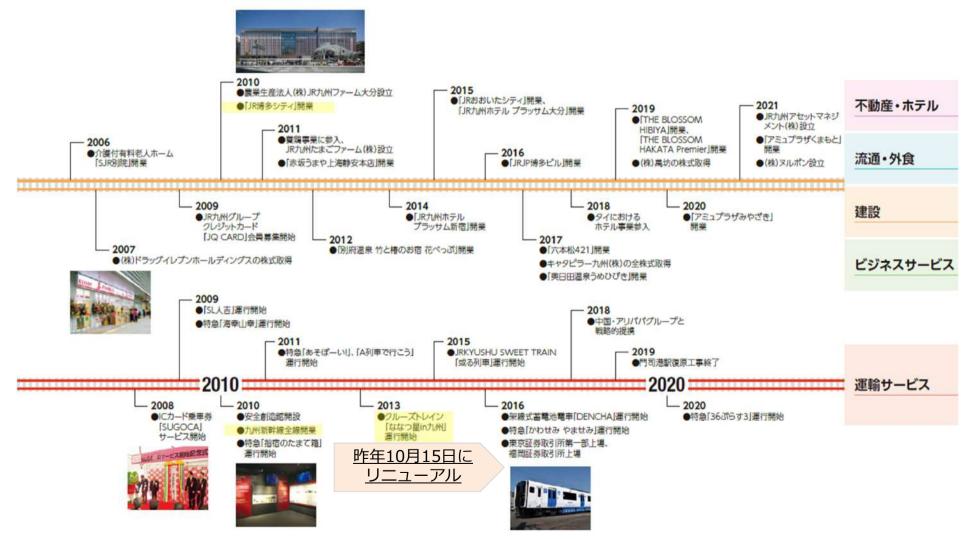
JR九州グループのあゆみ

地域を元気にするという思いのもと鉄道事業と関連事業の両輪であらゆる価値をつくり出してきた



JR九州グループのあゆみ

九州新幹線・JR博多シティ開業の2010年以降、成長は更に加速



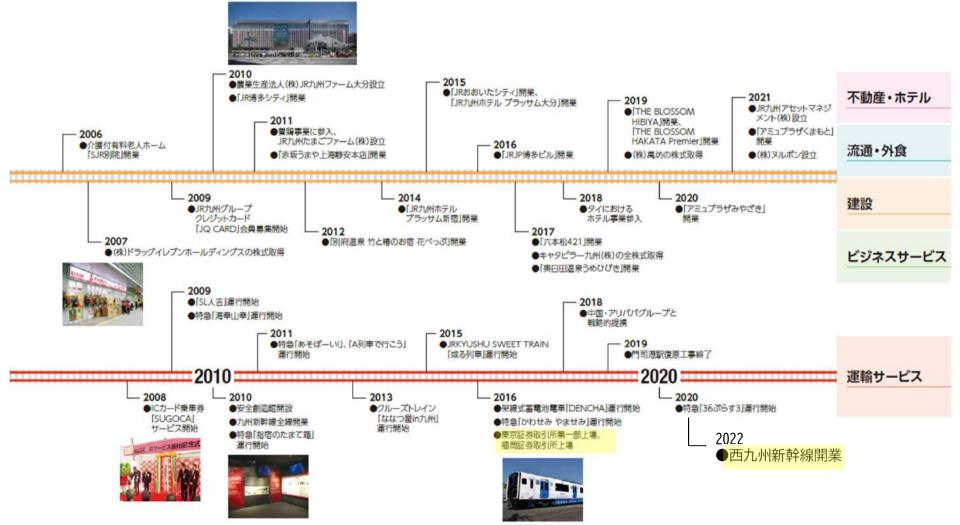
JR九州グループのあゆみ

ななつ星 in 九州 第2章 新たな旅のはじまり



JR九州グループのあゆみ

九州新幹線・JR博多シティ開業の2010年以降、成長は更に加速



JR九州グループの主な事業内容

鉄道以外の事業による売上が約7割となっており 事業の多角化が進んでいる

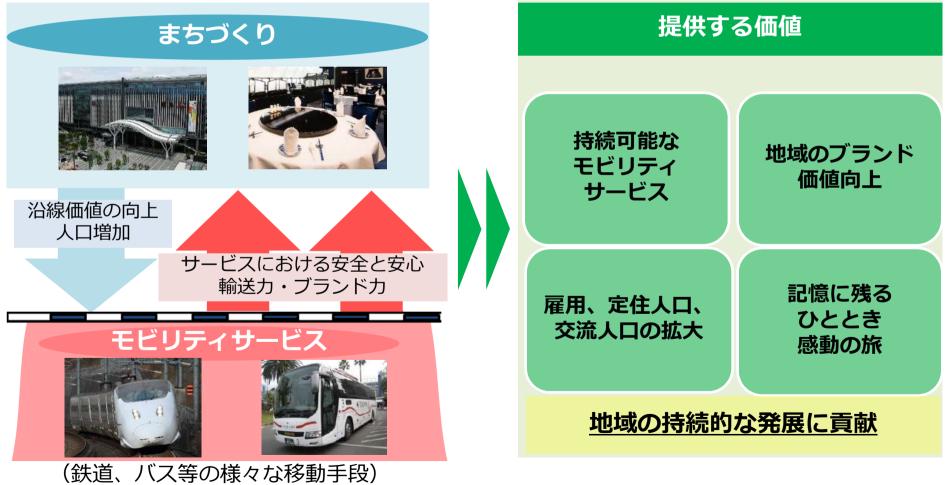
【セグメント別 売上構成比(2022年3月期)】



←

JR九州グループのビジネスモデル

モビリティサービスとまちづくりのシナジーにより沿線地域を中心に価値を創出



連結営業収益の推移(2002年3月期~2023年3月期)

多角化した事業が奏功し、**安定的な成長**を続けてきた



12

(-

JR九州グループの強み:社員の"個"の最大化



2021



"安全はあるものではなく、つくりあげていくもの" との考えのもと、**安全性向上**に取り組む

サービス <お客さまの声>

「サービスを社風へ」と高めるべく、お客さまの声 に耳を傾け、サービスのさらなる向上・改善に注力

人づくり<新規事業提案制度等を通じた多様なキャリア>

自ら学び、挑戦する人づくりに取り組み、 多様な人材が活き活きと活躍できる環境をつくる





地域を元気にするための取り組み:「住みたい・働きたい・訪れたい」九州に









2023年3月期 第3四半期決算ハイライト

2023年3月期第3四半期決算概要

■ 新型コロナウイルス感染者数の影響が続く一方で、当社 事業収益への影響は、これまでのコロナ禍と比較して限定的

■ 9月以降の需要の緩やかな回復に加え、鉄道事業を中心とした コスト削減等の貢献により、対前年で2期連続の増収増益

2023年3月期 第3四半期決算ハイライト

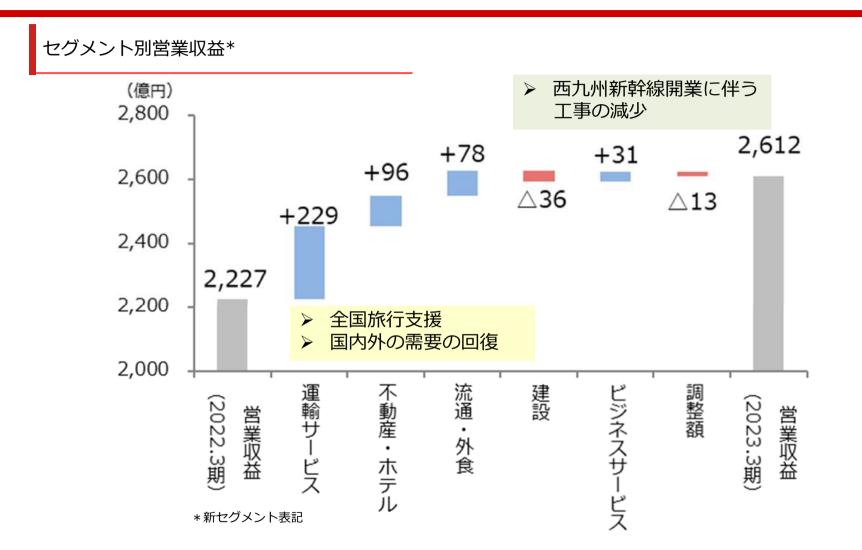
第3四半期決算は増収増益

	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	対前年		
営業収益	2,227	2,612	385	117.3%	・ <u>緩やかな需要回復</u> ・ <u>保有物件の売却</u>
営業利益	27	225	197	808.5%	鉄道事業の固定費削減
経常利益	69	235	165	337.7%	
特別損益	∆ 9	27	36	-	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	92	215	123	233.7%	保有株式の売却による 特別利益の増加
EBITDA (**)	226	442	215	195.2%	

(単位:億円)

※EBITDA=営業利益+減価償却費(転貨を目的としたリース資産に係る減価償却費除く)以下、全て同様です。

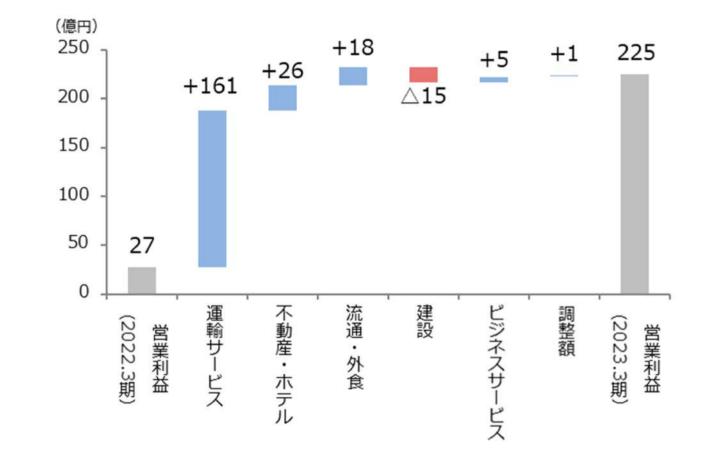
2023年3月期 第3四半期 連結決算ハイライト



新型コロナウイルス感染症の影響が継続したものの、鉄道事業を始めとした各事業に おける需要の緩やかな回復や当社保有物件の第三者への売却等により増収

2023年3月期 第3四半期 連結決算ハイライト

セグメント別営業利益*



営業収益の増加に加え、鉄道事業における固定費削減効果の発現などにより増益

(=



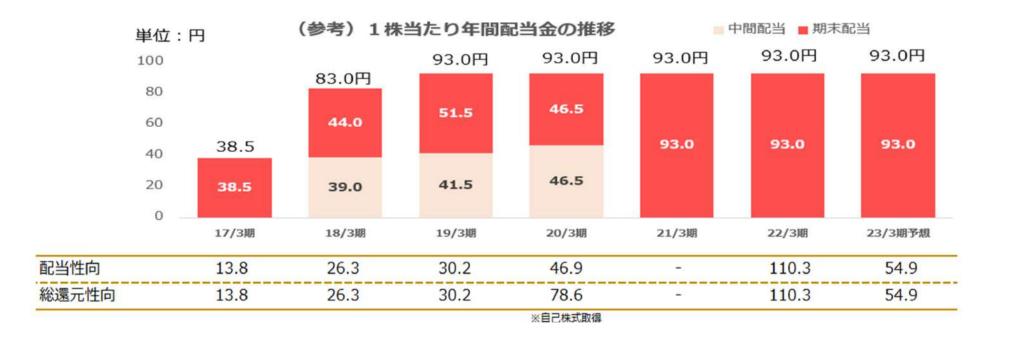






2023年3月期は期末に93円の配当予定

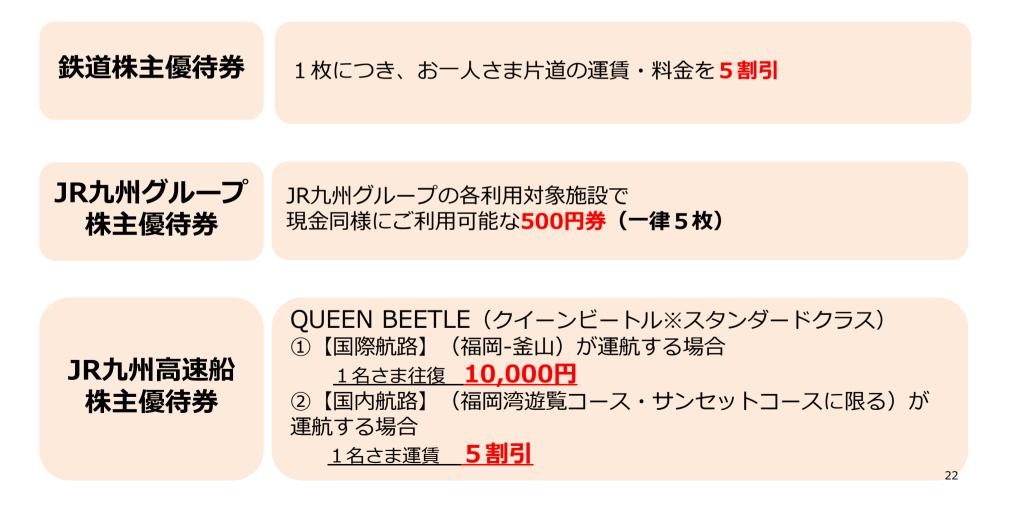
■ 2023年3月期の配当予想は、1株当たり年間配当金93円 ■ 2023年3月期は中間配当を行わず、期末配当の年1回とする予定



株主優待制度

3種類の株主優待

※3月31日を基準日として株主優待制度を実施し、6月下旬に送付を予定しています。



株主優待制度

JR九州グループ 株主優待券

※2022年1月末時点

←



株主優待制度

長期保有株主優待制度

ご優待内	容 「鉄道株主優待券」と 「JR九州グループ株主優待券」を追加で発行							
発行基準 毎年3月31日を基準日として、 500株以上 を保有し、かつ 100株でも継続して 3年以上 保有								
所有株式数	鉄道株主優待券		長期保有 株主優待	JR九州グループ株主優待券	長期保有 株主優待	JR九州高速船 株主優待割引券		
100株~500株未満	100株ごとに1枚							
500株~1,000株未満			1枚 追加		2枚 _{追加}			
1,000株~10,000株未満	10枚+1,00 200株ご			一律5枚 (500円券× 5枚)		-律 1枚		
10,000株~20,000株未満	55枚+10,0(300株ご		<mark>2枚</mark> 追加		4枚 追加			
20,000株以上	10	0枚						

例)2023年3月31日時点での所有株式数が500株以上であれば、 直前3年間の保有株式数が100株であっても長期保有株主優待の対象となります。 –



JR九州の経営戦略



JR九州グループの経営計画の体系

2030年長期ビジョン実現方針

2030年長期ビジョン(前中期経営計画から継続)

安全・安心なモビリティサービスを軸に地域の特性を活かした まちづくりを通じて九州の持続的な発展に貢献する

◆2030年長期ビジョン実現方針

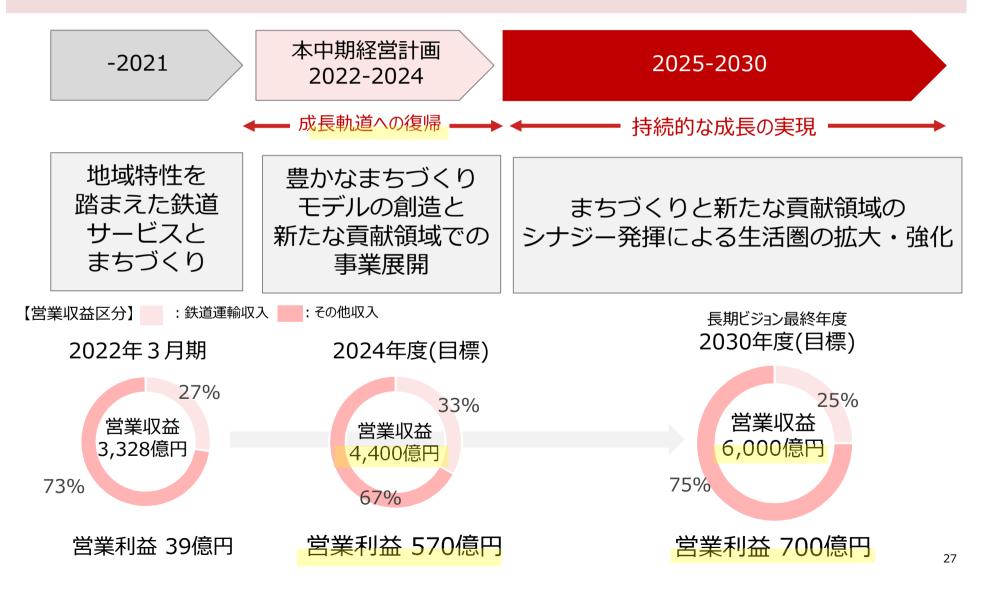
「価値観の変化を捉えた"豊かな生活を実現する"まちづくり

方針②

方針①

九州の持続的な発展に貢献する領域の拡大

長期ビジョン実現に向けたステップ



本中期経営計画の重点戦略

3つの重点戦略

重点戦略① 事業構造改革の完遂重点戦略② 豊かなまちづくりモデルの創造重点戦略③ 新たな貢献領域での事業展開

本中期経営計画の重点戦略

3つの重点戦略

重点戦略① 事業構造改革の完遂

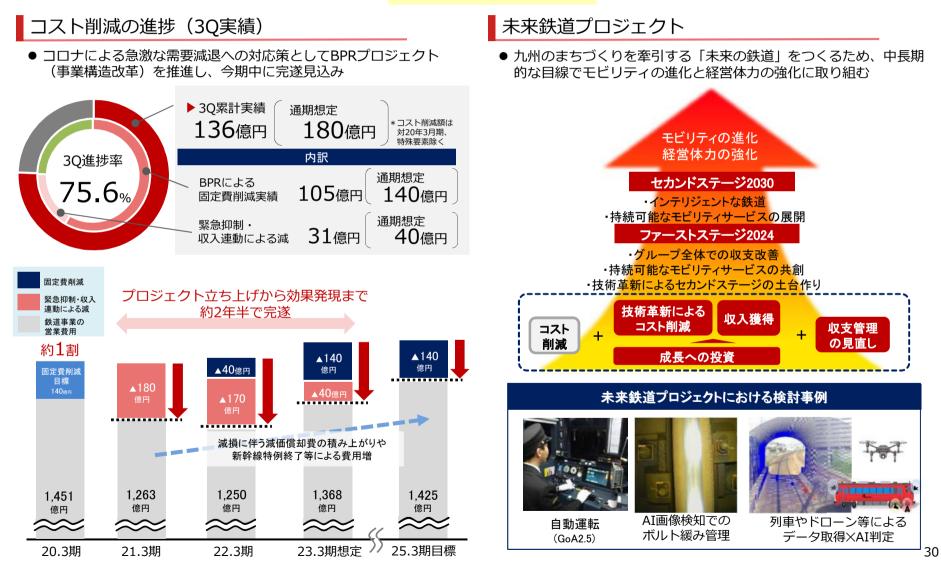
重点戦略② 豊かなまちづくりモデルの創造

重点戦略③ 新たな貢献領域での事業展開

重点戦略① 事業構造改革の完遂 | BPR*による鉄道事業のコスト削減

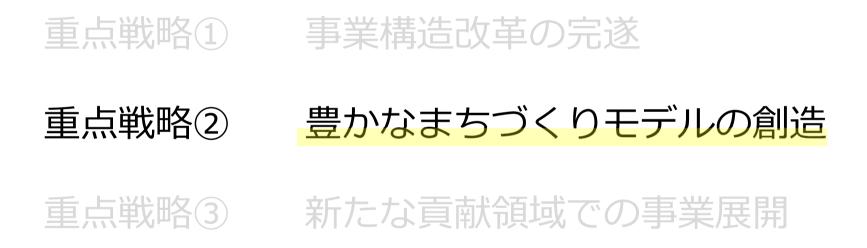
* Business Process Re-engineering

● 今期の180億円のコスト削減(BPRによる固定費:140億円、緊急抑制等:40億円)は順調に進捗
 ● 鉄道事業の更なる成長と進化に向けて、未来鉄道プロジェクトによる検討を推進していく



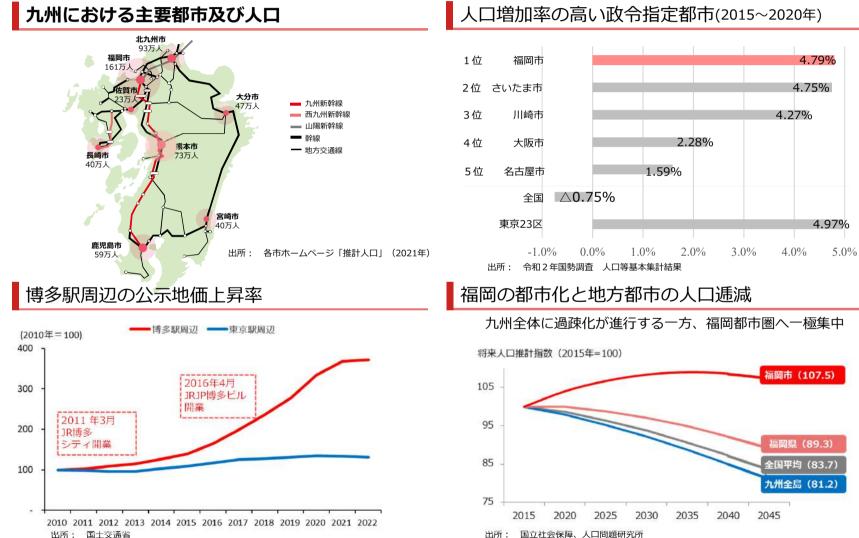
本中期経営計画の重点戦略

3つの重点戦略



重点戦略② 豊かなまちづくりモデルの創造

 九州は『日本の1割経済』という位置付け(域内総生産、総人口、総面積、事業所数等) ● 特に、福岡都市圏はコロナ後においても人口増加が見込まれる成長性の高い都市



重点戦略②豊かなまちづくりモデルの創造:福岡エリアのまちづくり

人口増加数・増加率が政令指定都市で最大である福岡市においては、不動産開発のみ ならず、プロパティマネジメント業務受託やアウトドア施設開発・運営など、幅広い 領域にてまちづくりを推進

福岡エリアにおける主な案件



新駅設置予定

33

重点戦略② 豊かなまちづくりモデルの創造 地域資源の再発掘と活用

九州DREAM STATION ~にぎわいパートナー~

長与駅 (長崎県)

- JR九州の駅・路線を活用し、当社と協働で九州一円の賑わい創りをするパートナーを選定
- 今回の4駅を皮切りに、今後も地元企業と協力し、「地域を元気に」する取り組みを推進



霧島神宮駅 (鹿児島県) 長与駅構内での駅業務の一部委託 ・霧島神宮 駅舎内装リニューアル、 ・コミュニティーホールにおける就労 駅構内での「茶室」(飲食店舗)の整備 支援事業を通した展示、物販イベント等の 株式会社 **企画**·運堂 I FOO楼 社会福祉法人 ながよ光彩会様 GOOOO 1001 IFOO なかよ光彩会 **kousaika**i = 角駅 (熊本県) 青島駅 (宮崎県) 三角駅だけでなく三角東港を含んだ ・青島駅を起点とした青島エリアへの エリア全体のまちづくり 観光促進事業 株式会社 株式会社 HARR CON シークルーズ様 オファサポート様 青島駅舎を活用して地域交流のプラットホー を作ります 九州新幹線 ONE 西九州新幹線 中下車から始まる、地域活性を 山陽新幹線 FOR - 地方交通線 マルシェ&アート事業イメージ 提供:熊本大学景観デザイン研究

重点戦略②豊かなまちづくりモデルの創造:日田彦山線BRTについて

- 2017年7月から災害により不通となっていた添田~夜明・日田間は2023年夏にBRTで開業予定
- ・地元自治体や関係機関と協力し、学校や病院など生活に密着したエリアを中心に全36駅のBRT駅の設置を計画(鉄道駅12駅に加え、新たに24駅のBRT駅を増設)



※通学需要に対応するため一部中型のディーゼルバスを 使用予定

装の基盤として再利用

重点戦略②豊かなまちづくりモデルの創造:西九州エリアのまちづくり



重点戦略②豊かなまちづくりモデルの創造:西九州エリアのまちづくり

2022年9月23日 西九州新幹線「かもめ」の開業



重点戦略②豊かなまちづくりモデルの創造:西九州エリアのまちづくり

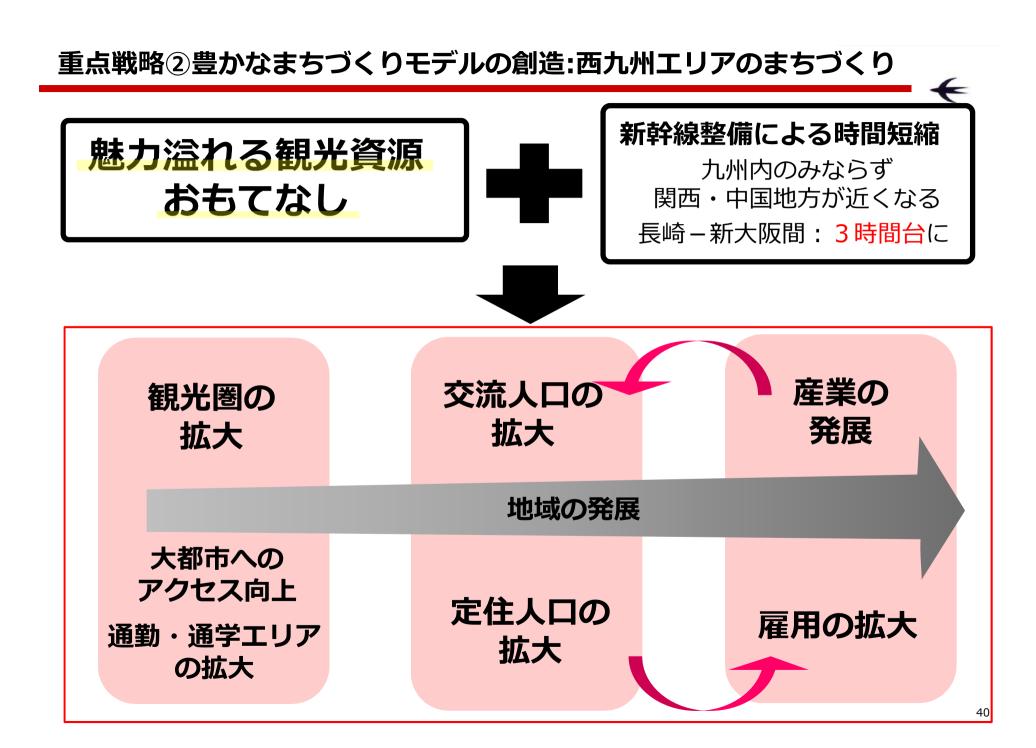
※市民参加型のプロモーション



重点戦略②豊かなまちづくりモデルの創造:西九州エリアのまちづくり

「かもめ楽団」プロモーション動画





本中期経営計画の重点戦略

3つの重点戦略

重点戦略① 事業構造改革の完遂 重点戦略② 豊かなまちづくりモデルの創造 重点戦略③ 新たな貢献領域での事業展開

重点戦略③新たな貢献領域での事業展開:BtoB、BtoG事業の強化

今期においては3件のM&Aを実施

	建設セグメント	ビジネスサー	-ビスセグメント
買い手	<u>JR九州エンジニアリング(株)</u> (当社100%子会社)	<u>JR九州システムソリューションズ(株)</u> (当社子会社)	(当社100%子会社)
	鉄道車両の設計・製造・検査・修繕 (福岡県)	情報システムの開発・運用受託 (福岡県)	鉄道・建築資材や事務用機器等の販売、 一般貨物自動車運送(福岡県)
対象 企業	が、株式会社 メタルスター九州	With-UnityceM. 株式会社 ウイズユニティ	Premium Logi X
	建築用金物の製造・設置工事 (熊本県)	医療系・業務系システムの開発・ 保守受託(福岡県)	精密機器・ピアノ等重量物の運送 (福岡県)
形態	株式譲渡による完全子会社化 (2022年4月15日)	株式譲渡による完全子会社化 (2022年6月30日)	株式譲渡による完全子会社化 (2022年10月12日)
狙い	ものづくり機能の強化	医療系システム分野への事業拡大	運送事業への本格参入
シナ ジー	対象企業顧客へのクロスセル、 車両工事内製化によるコスト減	買い手企業顧客へのクロスセル、 対象企業の人材獲得促進	買い手企業顧客へのクロスセル、 両社拠点の相互活用

重点戦略③新たな貢献領域での事業展開:ものづくり分野の強化

技術開発・ものづくりの拠点となる「福岡製作所」の整備



福岡県内に分散す る8箇所の作業場を 集約することで、人 材・技術・装置等の 経営資源の集中を 図り、技術開発力と ものづくり施工能力 の向上を目指す

経営資源の集中を図り、技術開発力と	- COS
ものづくり施工能力 の向上を目指す	

運営主体	JR九州エンジニアリング(株)
場所	福岡県古賀市
完成予定	2023年10月
規模・構造	敷地面積:5,686.35m 【事務所棟】鉄骨造3階建 1,448.45m 『ZEB』認定取得見込み 1階 現業事務所・・・工場技術員詰所 2階 事務所・・・・一部の本社機能 3階 研修会議室・・・社員教育、技術研修 クリーンルーム・電子機器プリント基板整備 研究開発室・・・ロボット、試験機等の開発 【工場棟】鉄骨造2階建 2,705.11m 検修スペース・・車両部品・保線機械部品の検修 製造スペース・・車両部品、車輪旋盤・転削盤等の製作

製作物の例



技術開発の例



パンタスリ板整備ロボット「パンダ」

年間約1,500枚にも及ぶ新幹線車両の パンタグラフスリ板整備の省力化及び 研磨により発生する粉じんからの解放 を目的にロボット化を実現

※パンダ(PANDHR)=Panta shoe mainte Diversity of Human Robot

今後は作業用ロボット、各種測定器など鉄道以外の分野からの引き合いが望める機器づくりも行う

JR九州エンジニアリング株式会社

当社グループの建設セグメントに属する100%子会社。グ ループのものづくり分野の中核として、主に車両や機械設 備の製造・保守・修繕等を担う。

ESG経営は**全社的課題**



F

脱炭素社会の実現に向けて

<u>事業活動と環境価値向上を両立させるため、CO2排出量を削減する「守り」の</u> 視点だけではなく、新たな価値を創出する「攻め」の視点を持った取り組みも推進



ESGに関する具体的な取り組み

環境負荷の低減



他社連携によるエネルギー 転換技術の導入に向けた検討

「お客さまの声」に応える取り組み



不動産アセットにおける グリーンビルディング認証の取得



博多駅への再工ネ電気の供給

・ご意見は2週間以内に経営幹部に
 報告され具体的な改善に繋げている
 ・速やかに改善できない場合は社長を含めた 4.000
 「サービスを社風にする委員会」において 2.000
 対応の検討を実施



46

従業員意識調査

従業員意識調査

【<u>目的</u>】

仕事・職場等に対する従業員の意識を分析し従業員の満足度を高めていくこと

【2022年3月期の調査結果を受けた取り組み】

- ・経営陣と従業員との意見交換を継続的に実施することにより 従業員への会社理念の更なる浸透を図る
- ・各部門や現業機関の管理者に対する調査結果の共有及び 具体的課題の抽出等、満足度向上に向けた取り組みを推進







JR九州グループ統合報告書2022

JR九州グループの財務情報に加え、経営方針・事業戦略・ESG情報等の 非財務情報を記載した**統合報告書**を作成・公表



成長軌道への復帰を果たし、 明るく元気な九州をつくっていきます

社長就任にあたって

「明るく、まじめに、優しく」をモットーに成長を目指す

この度、社長に就任するにあたり思い起こすのは、当社の前 身である国鉄の最後の時期に入社したときのことです。車両の メンテナンスや列車の運転士として様々な現場の仕事に一から 携わりました。それぞれの職場で、ともに働くことで考えや想い に触れ、周囲の方々から多くを学ぶことができました。この経験 は私の財産です。国鉄からJR九州へと生まれ変わる中で、現場 の視点を踏まえながらJR九州はどうあるべきか、どうするべき かを考えたことは、今でも私の信条として根付いています。 私が常に大切にし、信楽としていることは極めてシンプルで す。「明るく、まじめに、優しく」。これは会社にもあてはまると 思います。明るく元気でないと自分自身も会社に行くことが面 白くないし、良いアイデアも出す、物事が良い方向に進みませ ん。明るさと元気さは会社の雰囲気を良くし、最終的には私た ちの成長へとつながっていくと思います。ただ、明るさだけで は会社は成り立ちません。様々なことに挑戦するためには、まじ めに勉強し、まじめに取り組むことが大切です。そして、お客さ まに、同僚に、地域に、人として優しくありたいと思っています。

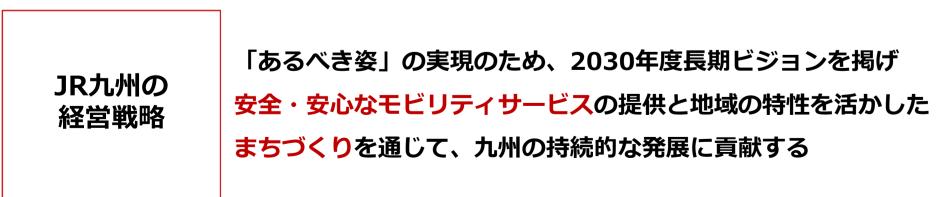


https://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/library/integrated_report/

本日のまとめ

	九州内を中心に、鉄道事業のみならず不動産、流通・外食事業
JR九州について	等さまざまな分野で地域とともに「 <mark>価値</mark> 」を創出してきた
	企業グループ

決算八イライト
 & 株主還元を経営上重要な施策と位置づけ、
 長期安定的な還元を目指す
 株主還元
 2023年度3月期は1株当たり年間93円の配当予想



(=

将来の見通しに関する記述について

本資料には、JR九州グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点におけ る仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。そのため、 今後、新型コロナウイルス感染症の状況、人々の価値観やライフスタイルの変 化、国内外および九州の経済情勢、不動産市況、各プロジェクトの進捗、法令規 制の変化、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資 料に記載された内容と大きく異なる可能性があることにご留意ください。

> 弊社IR関連資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。 JR九州ホームページ

https://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/library/earnings/

KYUSHU RAILWAY COMPANY

ありがとうございました

